

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

入院が必要な気道感染症例のうち鼓膜観察を行った因子に関する研究

1. 研究の対象

2017年1月～2018年12月に気道感染症で総合診療科に入院した方

2. 研究目的・方法・研究期間

小児において急性上気道炎は一般的な疾患であり、呼吸状態の悪化を伴う入院を要することもある。3歳未満の急性上気道炎に罹患した児のうち、37%は急性中耳炎を合併することが報告されているが、急性中耳炎のうち耳痛を訴えるのは50～60%程度であり、診断には鼓膜観察が必要である。一方で、全ての気道症状のある小児に対して鼓膜観察が行われていないのが実態である。気道症状のある児のうち、どの程度鼓膜観察がされているか検討した文献や、鼓膜観察を行った因子について検討した文献は検索した限り無いため、小児専門医療施設に気道感染で入院した児の鼓膜観察を行った割合やその因子について検討する。

・研究期間 2017年1月から2018年12月

・方法

上記期間にあいち小児保健医療総合センター総合診療科に入院し、退院時要約に最終診断名として肺炎、気管支炎、細気管支炎、上気道炎、喘息発作、肺膿瘍、クループ、百日咳、中耳炎と記載あったものを対象とする。

対象症例について臨床所見・検査所見などその他得られた情報を用いて後方視的に記述疫学を行う。情報は電子診療録を用いて、抽出する。発熱や呼吸器症状の期間は発症日を1日目と定義する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院時の年齢、性別、呼吸器症状の持続日数、熱の持続日数、他院から紹介の有無、基礎疾患の有無、先行抗菌薬の有無、呼吸数、人工呼吸管理の有無、高流量経鼻酸素カニューラ(HFNC)管理の有無、小児集中治療室(PICU)入室の有無、迅速抗原陽性の有無、胸部聴診で呼気性喘鳴、水疱音の有無、鼓膜観察の有無、中耳炎の有無、血液検査結果(白血球、分画、CRP)および胸部単純X線検査、初回診察を行った医師の所属している診療科、入院した日時など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 救急科 担当者名 樋口徹

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター

総合診療科 科長 伊藤健太

公開日 2021年 8月 11日

-----以上